各位

会社名 伊藤忠テクノサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 後藤 攻
 (コード番号 4739 東証第1部)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション課 藤原 隆
 (TEL 03-5226-1657)
 当社の親会社 伊藤忠商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 丹羽 宇一郎
 (コード番号 8001 東京,大阪,名古屋第1部,
 札幌,京都,福岡)

平成15年3月期通期業績予想(連結及び単体)の修正に関するお知らせ

平成14年8月6日に公表した平成15年3月期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成15年3月期通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

(1) 連結業績予想

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A) (平成14年8月6日発表)	323,100	16,200	8,500
今回予想(B)	290,900	18,000	8,700
増減額(B-A)	-32,200	1,800	200
増減率	-9.97%	11.11%	2.35%
(ご参考)前期実績(平成14年3月期)	345,303	20,672	12,089

(2) 単体業績予想

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A) (平成14年8月6日発表)	282,700	10,100	7,000
今回予想(B)	256,900	12,800	8,000
増減額(B-A)	-25,800	2,700	1,000
増減率	-9.13%	26.73%	14.29%
(ご参考)前期実績(平成14年3月期)	311,429	15,206	11,020

2. 修正の理由

情報化投資の抑制が一段と進んだことにより、年度末の追い込み需要が期待した水準を下回ったことから、売上高は、連結、単体ともに前回発表した見通しを下回る見込みです。一方、利益につきましては、サポート事業の堅調な収益貢献に加え、採算管理の徹底と経費抑制が進み、連結、単体ともに前回予想を上回る見込みです。

なお、前回予想の前提に含まれていなかった費用又は損失として、賞与引当金に係る総報酬制導入に伴う社会保険料費用負担の増加(税前で連結2.9億円、単体1.8億円の影響)、投資有価証券評価損の増加(税前で連結、単体ともに7.1億円の影響)、加えて税率変更に伴う繰延税金資産の取崩しの発生(当期利益で連結0.9億円、単体0.5億円の影響)が見込まれますが、これらは全て今回の見通しに織り込まれております。

以上